

中小企業総合展2007 in Kansaiに出展

門 元則 (京都 #321)

初体験として、AIBA関西支部では、去る2月21日(水)~23日(金)インテックス大阪で開催された「中小企業総合展2007 in Kansai」に、主催者の独立行政法人中小企業基盤整備機構より、「支援機関」枠で認可され、出展しました。

出展理由は 日頃、貿易アドバイザーの仕事をもっとやりたいと思っている会員がかなり存在していること(関西支部のアンケート調査による) AIBA活動の主たる対象が中小企業であること 自助努力が必要 AIBAの名をもっと世間に知らしめ、存在を広く認めて貰うこと 一小間の基本料が無料であること等々です。

尚、官製とも云えるこの展示会は、日本最大級の中小企業・ビジネスイベントとして首都圏と関西で毎年交互に開催されています。今回出展約300社は主催者が全国から厳選した優秀な企業ばかりとの由です。

そこで、我々のセールス(注文取り)の標的を来訪者ではなく、出展中の全300社にしぼり、小間を限なく「訪問セールス」とするという「ローラー作戦」に出ました。重複訪問を避ける為、全三日間の会期中、一日当たり約100社の小間を訪問枠として定め、毎朝10時に参加者へ割当てました。

インセンティブとして、現場で実際に受注した担当者自身に、顧客化の最優先権が与えられる事としました。これを「ビッグチャンス」として、関西支部のfreemlネット等で積極的参加を呼びかけましたところ、延べ15名ほどが皆ボランティアで快く引き受けてくれました。

小間訪問をしてみて、「ジェット口認定」という「王冠」には矢張り一定の威力が秘められている事を実感しました。それから、たった一回の訪問で「即受注」出来るほど世間は甘くありません。確かな感触を掴めた「見込客のフォロー」を夫々現場訪問した担当者が、今後如何に巧くこなして行くかにかかっていると思われます。

有効なコミュニケーションを図りながら、本注文をゲ

ットして、固定客にしてしまう必要があります。

出展準備としては、A-4判統一フォームで「商面談ノート」を作り、参加者はそれを各自パソコンで適宜プリントアウトして会場へ持参する。これまで、AIBAとしてのパンフレットが無かったので、これを機にA-4判片面カラー印刷で作成し、会場で約700枚消費しました。

A-1判で小間展示用カラーポスター2枚作りしました。出展企業は全国から来ており、もし、受注すれば所轄のAIBA各支部へスイッチすることも考えております。併せて、今回、AIBAを世間に少しだけ広く知って頂いたような気がしています。

韓国および中国の自動車生産

勝田 英紀 (大阪 #227)

2006年の韓国での自動車生産台数は370万台、同じく中国では722万台に達しています。

韓国の自動車産業は1997年のアジア経済危機の影響で、民族系の自動車会社の破綻が続き、大宇はGMとスズキの資本参加を受け、GM大宇A&Tになり、三星はルノーに買収されルノー三星に、双龍は中国の上海汽車に買収され、起亜は韓国系の現代に買収されました。その結果、民族系の自動車会社は、現代グループの現代と起亜のみとなっています。現代は米国で現地生産を始め、起亜も米国で生産を始め、技術水準は急速に高まっています。

アジアにおいても販売台数が、主力の排気量が1500cc以下の乗用車と最大積載量が1トン以下の商用車が急速に伸びています。

中国の場合、自動車会社の総数は正確に把握できないぐらいに多いのですが、上海汽車、第一汽車および東風汽車が3大メーカーです。これらの企業は欧米日のメーカーと提携して技術を導入しています。さらに上海汽車が上記の双龍を買収し、第一汽車がクライスラー社を買収するとの噂もあり、今後も買収により技術取得することを考えています。

民族系企業では、英国Roverを買収した南京汽車、ク

Contents (目次)

P1	中小企業総合展2007 in Kansaiに出展	門 元則
	韓国および中国の自動車生産	勝田 英紀
P2	紛争地ダイヤモンド	黒沢 久司
	知識と法令の確認	永野 靖夫
P3	最近ブログを始めて感じたこと	吉田 忠志

	映画に憑かれて	福田 浩人
P4	モンゴルよもやま話	棚瀬 乙磨
P5	支部活動、AIBANET論壇	
P6	アドバイザー活動	
P8	アドバイザーの現況、理事会議事抄録	
P9	編集後記	
P10	新入会員紹介、広告	

ライスラー向けに小型車をOEM輸出する提携を発表した奇瑞や新興の吉利、江鈴などが買収や提携を通じて欧米より生産技術を吸収し、技術力を上げ、欧米に輸出することを考えています。

またインドやタイと言った中国以外のアジアにおいても、自動車の市場は急拡大しており、販売の中心が、韓国や中国メーカーが主力としている排気量が1500cc以下の乗用車と最大積載量が1トン以下の商用車であることを考えると、今後日本車もその競争に巻き込まれてゆくのではないかと考えます。

技術的にはまだまだ日本車との差は大きいですが、例えば電気製品の販売では、技術的には日本製との技術差は大きいですが、価格の安さによりASEAN諸国やインドにおいて大きく市場シェアを奪っています。自動車の販売においても中国および韓国は、電気製品と同様に自動車を廉価販売することで、市場シェアを伸ばすことが考えられるため、日本にとり脅威となると考えます。

紛争地ダイヤモンド

黒沢 久司(宮城 #191)

日本でも近々公開が予定されている映画『ブラッドダイヤモンド』はジュエリー業界で早くも反響を呼んでいます。ところでブラッドストーンは血石と言うカルセドニーの変種で関係ありません。と言って、血ダイヤモンドと言う変種がある訳でもなく、この映画の日本名は『血塗られたダイヤモンド』とでもなるのでしょうか？

さて映画で主演のレオナルドデカプリオや監督はこの映画の目的とするところは『消費者は購入するダイヤモンドが紛争と関係のない事の保証を求める事』と言っていきます。

Conflict Diamondは紛争ダイヤモンドと訳される事もあるが私は紛争地ダイヤモンドが正解と思うのです。何故ならダイヤモンドに違いがある訳ではなくアフリカ諸国の紛争地(アンゴラやシェラレオーネ等)で採掘され、反政府勢力が不正輸出し、内戦の資金源としているといわれるからです。

国連が中心となって紛争ダイヤモンド国際認証制度(武力紛争とダイヤモンド原石の取引との間の関係を断つためのダイヤモンド原石に係る制度)(別名;キンバリープロセス証明)の検討が2000年からすすめられ2003年1月10日よりこの制度が導入され、輸出入ともにキンバリープロセス証明書が必要になりました。

ダイヤモンド原石(宝飾用・工業用を問わない)関税率番号第7102.10、7102.21、7102.31をわが国へ輸入するには、輸出国政府の発行するキンバリー証明書(紛争ダイヤモンド非該当証明書)の添付、そして、日本からの輸出には経済産業省発行の輸出承認書とキンバリー証明書および容器への封印が必要です。

ダイヤモンド研磨石とダイヤモンド・ジュエリーの場合

は業界の自主規制として、インボイスに次の宣誓文を記載します。

『The Diamonds herein invoiced have been purchased from legitimate sources not involved in funding conflict and in compliance with United Nations resolutions. The seller hereby guarantees that these diamonds are conflict-free, based on personal knowledge and/or written guarantee provided by the suppliers of these diamonds.』

なお、紛争地で採掘されるダイヤモンドは、世界全体の1%と推定されており、実際日本のダイヤモンドの輸入は、大概がカット、研磨済みで、原石の輸入量は少なく、年間約4.4キロ、全輸入量の約1%といわれています。デビアスグループDTC情報によると『ボツワナ国民にとってダイヤモンドは食べ物、医療、飲み水、道路を意味している』とフェスタス・モハイ大統領は述べています。(社)JJA日本ジュエリー協会は、2000年8月に紛争ダイヤモンドの輸入は行わない、国連等の規制に協力する立場を表明しています。

しかしNHKが過去に2度にわたり天然サファイヤ、ルビーの熱処理問題を報道して以来宝石の情報開示が進むジュエリー業界における私達はまたまたこの映画の反響にしっかりと消費者への事実説明をすることが求められています。

(筆者は米国宝石学会Graduate Gemmologist)

知識と法令の確認

永野 靖夫(東京 #68)

何か文章を書くとき、まず頼りにするのは、当然のことながら、私自身の知識であり、法律が関係すれば、最新の法令条文と言うことになります。しかし、これが簡単なようでいて結構難しい。過去、私自身何度か失敗していますので、恥を忍んで、以下申し述べることにしました。

1. 自分自身の知識

以前学んだ知識で、長い間使わなかったような場合は、十分注意しています。特に、固く信じて疑わない知識は曲者で、この場合、何らかの方法で裏を取るよう心掛けています。その結果、思わぬ間違いに気が付き、胸を撫で下ろしたことが何度かありました。

例えば、学生時代に学んだ知識は、聞き手である自分自身に予備知識がありませんから、言われたままに信じている嫌いがあります。又、その学習の過程で聞き違いもあるでしょうし、話し手の誤解もあるかもしれません。更に、時間の経過と共に、当該知識が現実にもぐわなくなっていることもありましよう。いずれにしても、常に注意するようにしています。

2. 法令条文

次に、法令条文ですが、例えば、安全保障の外為法以下の政省令は毎年必ず改正されますし、その改正の度合

いも昨今は一層大きくなっているように感じられます。そこで、私が取っている対応策は、まず、毎年年末に開催される「政省令改正の説明会」には必ず出席するようにしています。

勿論、リスト規制の細かな点は、私の理解を超していますが、大きな改正点は判りますし、その際戴ける資料が大変参考になります。その後、経済産業省の安全保障貿易管理やCISTEC（安全保障貿易情報センター）のホームページでフォローしてゆきます。

又、貿易審査課等には法令解説の各種パンフレットが置いてありますので、これを極力読むよう心掛けています。同じ法令でも解説文が違ふと思わぬ発見をするときがあり、常に注意が必要です。いずれにしろ、法令条文だけは、最新のものを参照せねばなりませんので、気を抜くことができません。

最近ブログを始めて感じたこと

吉田 忠志（千葉 #386）

昨年の秋ごろにブログを始めました。

題して「マーケティング工房のひとりごと」(www.marketing-koubou.cocolog-nifty.com)です。

日頃、見たこと、聞いたこと、感じたことをマーケティングの切り口で真面目に論じてみようという試みで始めました。

例えば、ある友人が歯医者の方がコンビニより多いと言っていたのを聞いて、それをヒントに歯医者の供給過剰と口コミによるマーケティングを取り上げ、別な友人がIBMの利益更新について言えば、ソフト・サービスに軸足を移した戦略として取り上げています。

新聞や雑誌の記事からもヒントをもらっています。マクドナルドが売上げを伸ばしたと報道されればそのインテリジェント・マーケティングについて論じ、インターネット社会でもTV視聴時間は微増していると報じられれば、それについて論じております。

また、沖縄竹富島を訪れた時には本土資本とは一線を画した自立的観光産業についてとりあげ、山陰・山陽路をドライブした時には、道の駅と地域振興について論じております。

ブログ記事を書くことが常に念頭にあると、物事を見る感性が以前よりとぎすまされたように感じます。新聞や雑誌を読む際にも、問題意識が高まったような気がしております。

題材やテーマをみつけることには苦労しております。常に、ブログ記事をひとつかふたつストックするよう心がけていますが、ストックがなくなるとあせります。あせればあせるほどテーマが逃げていくようです。

週に一回、ブログ記事を掲載しておりますが、細く、長く続ける事をモットー（口実？）に今年から各月の最終の週はブログの掲載を休むようにしました。すると不

思議なもの、心の余裕が生まれ、テーマが次々に見つかるではないですか。

今ではブログ記事も30程になり、なんとか体裁も整ってきたようです。とりあえず、100のブログ記事を目標にかんばっております。

映画に憑かれて

福田 浩人（東京 #254）

夜間高校の頃に学校をせつせとサボっては映画館に足を運びました。

勤務先である橋通りの「田中マツ商店」の奥さんが夕方になると、「福田君、そろそろ夕飯を食べなさんね。学校に遅るるが。」と言って特別扱いをしてくださっているのに、ボクは大成座、帝国館、若草劇場、ロマン座、江平劇場などの映画館に毎週二回は引っかかっているのです。月二回の休日は、宿題をほったらかして、モーニングショー、日中は三本立ての梯子、ナイトショーと続き、一日8本観たこともあります。

月末には、その月の作品・男優・女優のベスト・ファイブを洋画・邦画別にリストアップしたほどで今あのノートが出てきたら最高の宝物でしょう。

そんな映画気遣いになってしまったのは、ジェシー・ジェイムズと出会ったからでした。二本立て公演で、「地獄への道」「地獄への逆襲」一挙公開という看板に惹かれて若草劇場に飛び込みました。南北戦争直後のミズーリ州が舞台ですから、正確に言えば西部劇とは言えません。アパッチもスー族もシャイアンも出てこないのです。それでも西部の男たちの気分を色濃く持った映画であったと今でも思っていますし、そのためにボクは西部劇ファンになってしまったものです。

銀行強盗なのだから「悪い奴ら」です、でも心の中では懸命に応援しているのです。「俺たちに明日はない」のポニーとクライドに対してはそんなにのんびりしていいのよ、早く逃げないと捕まっちゃうよ、と語りかけていましたし、「ジャッカルの日」でも同じでした。

そして、ジェシー・ジェイムズにも必死で味方したのはボクだけではなかったはず、なにしろ面白い、息もつかせず観客を引き摺りまわすのです。奇しくも、南北戦争が始まった年から丁度100年後にボクは大学を出ています。そして、初めての出張先が、ミズーリ州のカンザスシティとはいささか出来過ぎの感ありですが、ジェシー・ジェイムズがミズーリ出身とまでは知らず、取引先のバイヤーからミズーリ川にまつわる話として、マーク・トゥエインの名前の由来などを聞いて感心したものです。

さて、ジェシー・ジェイムズ。演じたのはタイロン・パワーです。あの向こう意気の強い顔と、素早い身のこなしとで、強盗の一味をぐんぐん引っ張っていく、兄貴のフランクはジェシーたちを優しくに見守り、バックア

ップする役割です。もう半世紀も前のことですから、物語の細部まで覚えていたらおかしいでしょう。ボクの脳裏に焼きついているシーンは、新居の壁に額縁かなにかを打ち付けている時、後ろから撃たれて死ぬところです。「平原児」という西部劇でゲイリー・クーパーが撃たれる時も同じですが、背中から撃つ卑怯者のおどおどした態度、震える指先が典型的な暗殺者らしさを表しています。「シェーン」のジャック・バランスのような格好のよさはまるで感じさせないのです。

僅か10分間ほどの持ち時間で颯爽と登場して、あっという間にきていく、あの殺し屋には快哉を叫びたいほどでしたが、「地獄への道」や「平原児」の暗殺者たちは違います。後ろから撃たなければ勇者を倒せないほどの弱者であり、使命感らしきものも持ち合わさず、ひたすら命令をこなそうと必死で、そのためにかえって人間味すら感じさせるのです。

「地獄への逆襲」は、一挙上映の宣伝文句のとおり、後編とも言うべき作品です。弟の敵討ちをする控えめな兄、フランク・ジェームズに扮するのがヘンリー・フォンダです。杏の種かなにかを四六時中、口から吐き出しながら、暗殺者を追い詰めていきます。弟とはまるで違った人間のように、おっとりとしたヘンリー・フォンダを、この時からずっと好きでした。最後の作品「GOLDEN POND」では、キャサリン・ヘップバーンと共演していました。ボクの場合、いわゆる追っかけというではありません。映画の中でフォンダと再会したときに、会いたかったな、懐かしいぜ、と思うだけなのです。「若草物語」や「グレン・ミラー」のジューン・アリソンにも、それを感じます。イングリッド・バーグマンや「裸足の伯爵夫人」のエヴァ・ガードナーへの想いとは、かなり違うのです。

フランク・ジェームズがどうやって敵討ちをしたのか覚えていません。ただボクの頭に残っているのは、ヘンリー・フォンダの格好よさだけです。ただそれだけなのです。それなのに、「地獄二部作」のために、ボクは西部劇ファンになってしまい、高校生活前半二年間の大事な時間を映画に捧げ尽くす羽目になったのです。

ジェシー・ジェームズはその後何回も映画になったらしく、それだけファンが多かったということでしょう。「忠臣蔵」にも比肩すると言ったら叱られるかもしれませんが、ジェシー・ジェームズやワイヤット・アーブやピリー・ザ・キッドは歴史の大部分を西部開拓史が占めるアメリカという特殊な国では、そんな地位にあるのかもしれないと思います。一度、映画に造詣の深い足立さんの意見をきいてみたいものです。ピリーといえば、オーディ・マーフィの演じた映画を思い出しますが（「テキサスから来た男」だったかな）、極め付きはジェーン・ラッセルの「ならず者」です。パット・ギャレットはトマス・ミッチェルだったと思いますが、肝心のピリーを演じた男優のことは覚えていません

3年ほど前に「アメリカン・アウトロー」という映画を大森で観たことがあります。これが、お懐かしや、ジェシー・ジェームズの映画だったのです。コリン・ファレルという若い俳優がジェシーを演じ、ゼルダ（アリ・ラターなんて知らないが、いつかどこかで出会う女優かもしれないので記録しておきました）との恋物語などもあって、二人でテネシー州に逃れて新居を構えるところで終わっています。撃たれるのは数年先のことらしくハッピーエンドがまぶしく、なんでも、テネシー州は鉄道建設予定地に入っていないので、保安官もそこまでは追ってこないだろう、というのが亡命先に決めた理由だったようです。カンザスシティに出かけることがあれば、今度はジェシー・ジェームズ記念館へでも行ってみようかと思う、今日このごろです。（2007.3.10）

モンゴルよもやま話

棚瀬 乙磨（岐阜 #409）

角界はもとより、小泉前首相の訪問、ゴビ砂漠の地下資源、日経新聞連載小説や映画に登場のチングス・ハーンと此の所話題にことかかないモンゴルを投資案件の事前調査で訪問する機会がありましたので色々見聞した一端をこの場を借りて紹介させていただきます。

【人気は白鵬？】現地の方との話題作りはやはり相撲に始まりました。大手銀行の大看板に登場しているのは大関白鵬で、モンゴル出身力士の草分けとなった旭鷲山の功績をたたえるものの、横綱朝青龍の話にはそれほど燃えなかった現地の人々の反応は意外でした。

【独立心旺盛な遊牧民】ビジネス界で活躍する人々も大半が幼少時代は大草原のゲル（遊牧民の移動式住居）育ちで、馬にまたがり家畜を追う生活を送っていたとのことです。ある会社幹部によれば、そのせいもあって多くの人は独立心旺盛で会社組織に溶け込めず、10人採用しても残るのはせいぜい2~3人と会社経営の難しさの一面を語っていました。

【夏は肉を食べられない】そんな彼の幼少時代の話からです。夏は、ヨーグルト、チーズなど乳製品のみで肉を食べさせてもらえないと聞いて驚きました。

長く厳しい冬も野に放たれたままの家畜は見るのも哀れなほど痩せ衰えて春を迎えます。短い夏を惜しむかのようにただひたすらに草をついばんで草原が再び雪や氷に閉ざされる頃には丸々と太り、やっと遊牧民が厳しい冬を乗り切る為の貴重な食料に供されることになるのです。干し肉や-40度に達する自然の冷凍庫のなかで冷凍肉として保存されるとは興味ある話でした。

【日本の教育水準に不安】日本に留学していたある会社幹部は妻子を日本に残したままとなっているが小学生の娘は早々にモンゴルに帰す予定と言います。

訳をききますと、日本での生活経験のある仲間達も口を揃えて「特に数学はモンゴルより2年近く遅れており、

早く帰さないとい子供が苦勞する」と言うではありませんか。モンゴルが進んでいるのか日本が遅れているのか笑い事では済まされないと感じました。

【軍服姿のアメリカ兵】滞在3日目の朝、ホテルで大勢の迷彩服を着た米兵を見かけ、何があるのかと聞けばモンゴル軍との合同演習とのことでした。「中国とロシアの2大国に挟まれた我国はアメリカにとっても無視できないだろう」とは現地の声でした。

支部活動

北日本支部

新年会・勉強会

さる3月17日～3月18日に我が北日本支部は、ゲストとして本部の澤田理事長、ジェットロ仙台の遠藤所長をお招きして、松島の「一の坊」にて新年会&勉強会を開催いたしました。

当日は午後2時に現地に集合して2時半から畠山支部長によるレクチャーを開催しました。テーマは「最近の税関行政、通関事情及び国際物流（logistics）について」でした。

畠山支部長は通関士としての10年をこえる実務経験をいかした、レクチャーはわかり易くかつ専門的な分野にまで及び大変勉強になりました。

続いては、スペシャルゲストとして遠路駆けつけてくださった澤田理事長からは、ジェットロの現状に関する基本認識についてお話をいただきました。特に貿易アドバイザー試験についてのジェットロの考え方は、会員一同大変興味深く拝聴いたしました。

その後は、遠藤所長を交えて夕食をとりながら和気あいの懇親会を行いました。今回北日本支部に3年ぶりに誕生した新会員山村さんの歓迎会にもぎやかにこなわれました。

翌日は朝食後9時から北林会員より「グローバル会計ソフトのデモと国際会計のイントロ」と題したレクチャーを頂きました。公認会計士でもある北林会員の、国際会計をスムーズにすすめることのできる新手法に、とても可能性を感じました。

最後にみんなで昼食をとり、この意義深い二日間をむねにそれぞれの帰路につきました。澤田理事長はじめ参加して下さった会員のみなさまありがとうございました。（大須賀祐 #486）

首都圏地区

2月24日 2月度勉強会例会

テーマ：「輸入貨物こん包材植物検疫制度」

講師：農林水産省横浜植物防疫所
次席植物防疫官 中澤郁夫氏

場所：ジェットロ本部A会議室

参加：33名

3月10日 3月度勉強会例会

テーマ：「ブランド品の並行輸入と知的財産権」

講師：日本流通自主管理協会

事務局長 大谷規世氏（AIBA会員）

場所：ジェットロ本部A会議室

参加：32名

東海支部

2月17日 支部例会（勉強会）

講演（1）

テーマ：「最近の貿易保険を巡る状況について」

講師：独立行政法人日本貿易保険大阪支店、
審議役 河野晴之氏

講演（2）

テーマ：「中国との商取引や現地での折衝において失敗しない鉄則」

講師：AIBA理事・関西支部長 門 元則氏（#321）

関西支部

3月17日 支部3月度研修会

農林水産省神戸植物防疫所調整指導官 牧口覚氏から「輸入木材梱包材の植物防疫措置」についてご講演をいただきました。

当日はパワーポイントでの説明やビデオの映像を見ながら輸入植物検疫規程改正に関して詳しく説明していただき、関西支部会員とも積極的に意見交換が行われました。また東海支部会員の常川氏（#249）も遠方よりお越しいたご研修会とその後の懇談会でも関西支部会員と交流を深めていただきました。

中国四国支部

広島地区

隔週火曜日 定例貿易相談

於：ジェットロ広島

2月8日 バーゼル法等説明会に支部長出席

於：中国経済産業局

岡山地区

3月14日 於：倉敷、3月19日 於：笠岡

ジェットロ岡山主催出張貿易相談

（長光会員、滝沢会員）

AIBA NET 論壇

（1月）

中国での委託加工による輸入の契約及び決済

サンプル輸入の関税率と業務輸入事前教示の関係

（2月）

海外TVフィルムの日本放映権取扱い

ベトナムでの工場設立に対する助成制度と日系団地

欧州における機械輸入規制 CEマーク
三国間輸送における荷主の取扱い
上海での駐在員事務所設立手続き
中国の海上運賃と港湾情報
中国企業からの合意書
新トレードタムズ
対イラン経済制裁関連外為法処置

(3月)

コンピューターソフトウェアの米国向け輸出
国際物流における電子タグの国際標準化 RFID
取消可能信用状？
荷為替手形の買取り問題
Under value問題
「関税評価入門」紹介

アドバイザーの活動

講演・講師

1. 清水 正明 (埼玉 #47)
1/17
ジェットロ・東芝総合人材開発㈱主催
「ロールプレーで学ぶ貿易実務」
於：横浜市
2/1
ジェットロ長野主催、貿易実務講座(初級編)
「貿易実務ロールプレー」(支援講師)
於：長野市
2/3-4
ジェットロ熊本主催、
ロールプレーで学ぶ参加型貿易講座
「貿易の仕組みと流れ」
於：熊本市
2/8
福岡貿易会主催、貿易実務講座(中級編)
「One Day Role Play」
於：福岡市
2/16
ジェットロ千葉主催、貿易実務講座(初心者向)
「貿易実務ロールプレー」(支援講師)
於：千葉市
3/10
ジェットロ熊本主催
ロールプレーで学ぶ参加型貿易講座
「貿易実務ロールプレー」
於：熊本市
3/7、14、20、22
さいたま商工会議所、国際経済交流企業組合共催
起業支援講座「小口輸入塾」
於：さいたま市
2. 勝田 英紀 (大阪 #227)
1/19、2/23、3/2
財務省税関研修所主催
「調査事務研修」
於：財務省税関研修所 大阪支所 大教室
3. 平林 厚美 (長野 #312)
2/14
ジェットロ長野主催
「実践貿易基礎知識」
於：上田市電気機器メーカー
2/21
ジェットロ名古屋主催
「農産物輸出あれこれ」
於：愛知県田原文化会館
4. 門 元則 (京都 #321)
2/17
AIBA東海支部主催、2月定例研修会、
「中国との商取引や現地での折衝において
失敗しない鉄則」
於：港湾会館(名古屋)
5. 芝田 政之 (東京 #355)
2/1
厚生労働省、明治大学リバティール・アカデミー主催
「小口輸出入」講師
於：明治大学駿河台アカデミーコモン
2/22
ミプロ&DREAM GATE College主催
「始めたい、でも、わからない人のためのミプロ小口
輸入講座」
於：池袋
3/15
(財)対日貿易投資交流促進協会(ミプロ)主催
「消費生活用製品を輸入販売するにあたっての注意点」
於：池袋
6. 弓場 俊也 (大阪 No.415)
1/24、2/22
大阪市経済局(社)大阪輸出入協会主催
「ビジネス英語セミナー」
於：大阪マーチャндаイズマート会議室
3/26
(財)太平洋人材交流センター主催
ケニア輸出振興協会(EPC)研修員対象セミナー
「貿易実務の国際ルール」
於：大阪piaNPO会議室
7. 高橋 伸二 (兵庫 #420)

3/12
ウエダコンピューターシステム株式会社主催
貿易会計セミナー
「貿易業務のコンプライアンスについて」
於：大阪産業創造館

8. 小西 勝己 (香川 #464)
3/15-16
ジェトロ香川・高松商工会議所主催
「ビジネス英語講座・学校英語で大丈夫」
於：高松商工会議所会館

相談・アドバイス

1. 清水 正明 (埼玉 #47)
1/9、12、2/9、15、23
さいたま商工会議所ビジネス交流会主催
埼玉県海外取引アドバイザー制度による相談
於：さいたま市
1/6、2/15、3/8
さいたまビジネスサポートセンターによる相談
於：さいたま市

2. 中川 善博 (三重 #67)
1/18、2/15、3/15
ジェトロ三重主催
巡回貿易相談
於：伊勢商工会議所、松阪市産業振興センター
2/16
ジェトロ三重主催
巡回貿易相談
於：四日市商工会議所

3. 野本 功司 (東京 #76)
2/7-8
ジェトロ金沢主催 食品輸出個別相談会
個別企業訪問相談
於：各企業
3/13-16
日本能率協会主催
国際食品・飲料展 (FOODEX)
来場者対象貿易コンサルティング
於：JETRO展示BOOTH 幕張メッセ

4. 平林 厚美 (長野 #312)
1/16、3/26
ジェトロ長野主催
貿易相談
於：ジェトロ長野
1/24、2/16、3/8

ジェトロ諏訪主催
貿易相談
於：ジェトロ諏訪

5. 清田 哲司 (熊本 #337)
1/31-2/4
くまもと農林水産物等輸出研究会
香港現地商談会アテンド
於：香港日本人クラブ

6. 芝田 政之 (東京 #355)
3/6
ジェトロ池袋情報サテライト主催、相談会
「輸入ビジネスと知的財産権」相談
於：池袋
3/19
主催：福岡商工会議所
「インダストリアル・ツアー in 福岡」
アテンド・相談
於：福岡

7. 棚瀬 乙磨 (岐阜 #409)
2/21
ジェトロ岐阜貿易情報センター主催
「中国個別貿易投資相談会」個別相談
於：ジェトロ岐阜貿易センター

8. 弓場 俊也 (大阪 No.415)
1/29
豊中商工会議所主催
セミナー「ネットが変える国際取引」
個別相談会
於：豊中商工会議所

9. 高橋 伸二 (兵庫 #420)
1/25
ジェトロ主催、貿易相談
「めんたいこの輸出」
於：ジェトロ神戸
2/9
ジェトロ主催、貿易相談
「ハーブティーの輸入」
於：ジェトロ神戸
2/22
ジェトロ主催、貿易相談
「海老：マグロの輸入」「釣り具の輸入」
於：ジェトロ神戸
2/27
三木商工会議所主催、貿易相談
「貿易業務について」

於：三木商工会議所

執筆

1. 佐藤 利光 (千葉 #144)
2007/3

「外貨投資の入門講座」

佐藤利光/文一雄の共著

NTTスマートトレード株式会社出版
株式会社日本法令印刷

2. 深谷 良孝 (埼玉 #162)
2007/2

「インターネット広告におけるアフィリエイトの役割」
(講演録)

REPORT JARO 2007年2月号

(社)日本広告審査機構発行

2007/4

経営・人事面ビズテック塾

「ネット広告の行方」

4月2、3、4、5日及び9、10、11、12日

日経産業新聞掲載

3. 勝田 英紀 (大阪 #227)
2006/12

「アセアン諸国に対する中国元切り下げの影響」

商経学叢 第53巻1.2号119-134頁

2006/12

「日米格付機関の格付決定要因の比較分析」

田中克明氏及び俣野義則氏との共著

商経学叢 第53巻1.2号135-150頁

アドバイザーの現況(2007年3月31日現在)

期別人員

第1期	55名	第8期	16名
第2期	31名	第9期	24名
第3期	23名	第10期	17名
第4期	35名	第11期	7名
第5期	54名	第12期	4名
第6期	18名	第13期	13名
第7期	47名	合計	344名
AIBA NET参加			331名
(加入率			96.2%)

支部別人員

北日本支部	18名 5.2%	中国四国支部	18名 5.2%
首都圏	197名 57.3%	九州支部	20名 5.8%
東海支部	30名 8.7%	海外	8名 2.3%
関西支部	53名 15.4%	合計	344名

海外在住会員

#	氏名	勤務先等
125	一柳光宏	チュニジア投資振興庁(在チュニス)
163	福元雅英	The Kagoshima Bank Ltd. (3209 Jardine House,1 Connaught Place, Central, Hong Kong)
234	小林公典	501/400 St. Kilda Road, Melbourne Vic 3004 Australia
253	日口正敏	MIKI (USA) Inc. (2151 River Plaza Drive, Suite 270 Sacramento, CA 95833 U.S.A.)
343	大橋昌平	Le Cullinan 5B, 47 Sukhumvit 39 Sukhumvit Rd., Klongton-nua, Wattana, Bangkok 10110
365	中根昌孝	HONG KONG TOYO ALUMI CO., LTD (香港・深圳)
459	荻田浩三	2312 Bolingbrook Lane, Raleigh, NC 27613 USA
484	吉次 正	OOO "Vanino-Tairiku" Lazo street No.8, Sovetskaya-Gavanj City, Khabarovsk Region, 682800, Russia

理事会議事録(抄録)

第64回首都圏理事会

日時：2007年1月18日(木) 16:00～18:00

場所：秋葉原事務所

出席者：首都圏役員9名(敬称略)

澤田、大谷、網谷、足立、寺尾、井上、釜堀
各理事、野本、岩田 各監事

(川村理事より理事長宛、委任状提出)

澤田理事長より緊急に首都圏理事会が召集された経緯につき、説明があり、今回の理事会では、まず、問題の背景・核心を理解するとともに、情報の共有化を図ることになった。

議題：ジェットロ認定「貿易アドバイザー試験制度」の廃止勧告に関する問題点。

経緯：昨年12月9日、ジェットロよりAIBA宛、連絡があり、ジェットロによる貿易アドバイザー試験廃止の方向性について、政策評価・独立行政法人評価委員会から提出された文書の一部をAIBAは入手した。

文書の内容：ジェットロの主要な事業については「独立行政法人として真に担うべきものに特化し、業務の質の確保を図りつつその運営の効率性・自立性を高めるとともに、国の歳出の削減を図る観点から、以下の見直しを行う方向で今後更に検討を深めるものとする」と記されている。そして、「貿易アドバイザー試験事業」につい

ては「次期中期（平成19年～）目標期間中の出来るだけ早期に、日本貿易振興機構の業務としては廃止し、併せて、民間の実施主体への移管の可能性を早急に調査し、移管などの措置を講ずる」としている。

ジェットロでは、行政改革本部の決定を経た、方向性の大枠に関する正式通知が経済産業省より届き次第、対応を検討するとのことであった。

これを受けて、理事会ではジェットロからの貿易アドバイザー試験制度の情報について、検討された。当面の対策として、AIBA会員には理事長名で貿易アドバイザー試験制度の方向性に関する現状を早急に知らせることになった。（AIBA-NET1月20日付け、理事長信にて実施）

また、試験制度の変更はAIBAの根幹に関わる問題なので、理事会からの発言は出来るだけ一元化したいとの理事長からの要請があり、了承された。

AIBAが貿易アドバイザー試験制度にどう取り組むかは現段階では議論できる状況にはないが、今後、より正確で迅速な情報の入手に努力するとともに、関係機関と連携して、今後の対策を練って行くことになった。

第65回AIBA首都圏理事会

日時：2007年3月10日（土）16:00～20:00

場所：秋葉原事務所

出席者：首都圏役員11名（敬称略）

澤田、大谷、網谷、小河原、橋本、井上、川村、寺尾、釜堀 各理事、岩田、野本 各監事
（15時30分までジェットロ会議室で勉強会が開催され、その後、秋葉原事務所にて、理事会が開かれた）

議題1．貿易アドバイザー試験制度改変の方向性の確認とAIBAの基本策

この議題については、2月27日に評価委員会から出る予定の意見に沿って、ジェットロが3月中に中期計画をまとめるべく、検討中であり、今回の理事会では大きな進展がなく、澤田理事長から報告するほどの情報はないとの状況説明があった。

会議ではジェットロが民間に試験制度を移管する場合の受け皿の候補について、意見が交わされた。

また、今後の方向性について、「本問題の重要性に鑑み、出来るだけ少人数での議論がまず必要と判断し、当面役員を中心とした5名程度のプロジェクト・チームを組んで、検討、外部折衝に当たりたい」との理事長よりの提案があり、了承された。

議題2．平成18年度受験対策セミナーの総括と本年度実施計画

ジェットロは平成19年度の貿易アドバイザー試験を例年通り、10月に実施することを発表した。その実施要綱は

ジェットロのHP上に掲載されている。

平成18年度セミナーの総括としては、合格者、21名の内、12名がAIBA対策セミナーの受講者であった。

講師8名は貿易実務オンライン講座のメンバーが中心だったが、更に公募して、2名を加えた。

受講者の募集方法としては、ジェットロのHPやメルマガの広告が効果的であった。

受講者へのアンケートでもセミナーの内容について高い評価を得ている。

平成19年度は開催のタイミングを早めることやカリキュラムの改良、支部での受験対策セミナーの検討も議論された。

対策セミナーを成功させるために、事業推進Gを中心にして、採算性を重視しつつ、本年も事業計画を立て、実施することになった。

議題3．パソコン不利用会員へのAIBA一斉通信対策の補完

FAXのみの会員は13名だが、これに関連して、今後もFNX（一斉通信）を継続するか、検討されたが、当分は継続することになった。

議題4．新入会員を含むAIBA会員の現状と退会会員引き止め対策

3月10日現在、新入会員は13名。復会した会員2名。退会希望会員は8名であった。退会の理由などが検討され、今後は有資格で未入会の会員や一旦、退会した会員への再度加入を勧誘する一方、退会希望の会員については、個々に知己会員に引き止め説得を依頼すると共にAIBAから退会慰留状を発信し、引き止めに努めることとする。

<編集後記>

今号の投稿文は、前号に比べて件数は少ないもののどれも読者の興味を惹く粒ぞろいで、又いわゆる柔らかい内容が多いように思えます。

その一つ、モンゴルの紀行文では大相撲力士の出身地モンゴルの現地では、大関白鵬が横綱朝青龍に比べても人気がある様子との事でした。先頃の春場所ではその白鵬が朝青龍に一步先んじ、ついには、優勝決定戦で勝ってしまいました。寄稿文の筆者が現地で得た生の情報の確かさに興奮しつつ春場所を楽しむことが出来ました。

貿易の周辺にある文化や風物に目を向けた記事がその筆者・アドバイザーの人となりにも親近感を覚えさせます。

300人余の会員が普段は顔を合わせる機会が少ないだけに、このような掲載文がAIBA会員間の親近感・一体感を醸成し、AIBAを元気な集団にするのではないかと感じた次第です。（SK）

新入会員紹介

認定番号	氏名	居住地
238	柴田 洋二	東京都江戸川区
521	石野 裕通	兵庫県神戸市
522	入田 修	神奈川県川崎市
524	金井 勇雄	埼玉県さいたま市
525	神田 光雄	東京都墨田区
527	塩井 彰	神奈川県川崎市
530	行方 久智	埼玉県春日部市
532	林 欣吾	岐阜県岐阜市
534	松浦 光吉	大阪府摂津市
535	八木 直人	愛知県岡崎市
536	社田 広	広島県広島市
537	築瀬 正文	岐阜県大垣市
538	山村 眞	岩手県大船渡市
540	吉野 潤一	東京都墨田区

『宝飾品なんでも鑑定と買取り』

1974年 米国宝石学会ロスアンゼルス本校卒業

1997年 ジェトロ認定貿易アドバイザー

どんなに古い、壊れた、小さい物でも大丈夫
金、プラチナ、ダイヤモンド、その他各種宝石

秘密厳守、鑑定鑑別のみ無料

宝石の杜

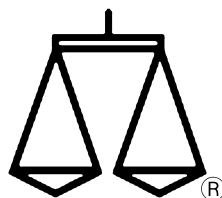
仙台市青葉区立町27-5 不二ビル1F

TEL/FAX: 022-267-9390

kuro@gold777.jp

<http://www.gold777.jp>

“安心の証” 天秤マーク



日本流通自主管理協会（略称AACD）は消費者の皆さまが安心して
買い物ができる、確かな並行輸入ブランド品市場を形成するために、
偽造品や不正商品の流通防止と排除を目指して活動しています。

有限責任中間法人 日本流通自主管理協会

<http://www.aacd.gr.jp>

消費者専用ご相談電話：0120-786-470（フリーダイヤル・ナヤマ・シナワ？）

電話：03-3237-6331 ファックス：03-3237-6332

協会事務局長 大谷規世（貿易アドバイザーNo.127）

不正商品対策等に関し、ご質問や情報をお持ちの貿易アドバイザーの方は
どうぞ、大谷までご一報下さい。